



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社GSI 上場取引所 札  
コード番号 5579 URL https://glue-si.com  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小沢 隆徳  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務管理事業部長 (氏名) 原田 裕 TEL 011(726)7771  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,012	—	78	—	81	—	49	—
2024年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 52百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	24.88	—
2024年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2024年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,190	2,042	64.0
2024年3月期	3,206	2,096	65.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,042百万円 2024年3月期 2,096百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	53.00	53.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,335	7.8	263	△38.1	246	△43.9	144	△53.3	72.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	2,000,000株	2024年3月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	ー株	2024年3月期	ー株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	2,000,000株	2024年3月期1Q	1,716,483株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件等については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2024年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善が進む中で、インバウンド消費の増加などを背景に、内需を中心に景気は緩やかな回復基調を維持しました。しかしながら、不安定な国際情勢の中、円安の影響による原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

一方で当社グループの属する情報サービス産業におきましては、社会のデジタルトランスフォーメーション(DX)技術を活用した業務プロセスやビジネスモデルの変革がグローバルで進展する中、IT投資需要のさらなる増加が期待されています。顧客企業の業務効率と生産性向上への強い意欲を背景とした動きの中で、システムの再構築や戦略的IT投資需要は、今後も継続が期待されます。ただし、需要の拡大に対してIT人材のリソース確保・供給が追いつかず、市場拡大の重石になる可能性があります。加えて、情報サービス企業では、人材獲得競争の激化や物価上昇に伴う賃上げ圧力の高まりなどから、人件費が増加し、収益環境が厳しくなる懸念もあります。

このような環境のもと、当社グループは、新たに策定しました「中期経営計画(2024年度~2026年度)」に基づき、これまでの開発実績や顧客企業との信頼関係を足掛かりとして、「自社ソフトウェア製品の開発・販売」や、今後急成長が見込まれる「先端技術」への事業領域の拡大を推進し、国内・海外からの優秀な人材の確保、社内の人材育成強化に取り組んでおります。また、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、地域社会・環境の持続的発展に向けた取り組みを積極的に行いながら、さらなる事業拡大と経営の効率化を図るべく、当中期経営計画を推進しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,012,595千円、営業利益は78,733千円、経常利益は81,084千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は49,769千円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメントの売上高については、外部顧客への売上高を記載しております。

#### (システム開発事業)

新規顧客の獲得及び既存顧客からの追加案件の受注が堅調に推移しており、これにより事業基盤を着実に強化しています。また、準委任契約や労働者派遣契約によるソフトウェア開発及び保守などの常駐開発支援サービスを提供する人員数が増加し、一人当たりの平均単価も上昇しています。さらに、請負契約による受託開発支援サービスで受注した高齢者向けサービスを提供している顧客の基幹システム刷新プロジェクトも順調に進行しており、新たな機能追加等への対応を行ったことから、第2四半期以降の売上増加に寄与すると考えております。

その結果、売上高は1,005,131千円、営業利益は94,220千円となりました。

#### (就労支援事業)

就労継続支援B型事業所を2024年2月に札幌市西区と東区に開所し、同年6月に千歳市に新しい事業所を開所しました。

順調に利用者数が増加していることで、当第1四半期連結累計期間の売上高は増加し、営業損失額も縮小しました。また、2024年6月に新たに事業所を開所した際の準備に関連する費用が先行したにもかかわらず、営業利益の改善が見られております。

その結果、売上高は7,464千円、営業損失は15,487千円となりました。

今後も事業所の存在や提供するサービス内容を地域の人々に積極的に広報し、広告・SNS活用等の方法を使い、周囲の関心を喚起することを継続してまいります。これにより、さらなる利用者の増加と売上高の向上を目指し、地域社会に貢献してまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、2,736,912千円(前連結会計年度末比51,488千円の減少)となりました。これは主に、売掛金及び契約資産の増加45,613千円があったものの、現金及び預金の減少104,017千円によるものです。

固定資産は、453,517千円(前連結会計年度末比35,571千円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の増加33,004千円によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、3,190,429千円(前連結会計年度末比15,916千円の減少)となりました。

(負債)

流動負債は、952,572千円（前連結会計年度末比63,109千円の増加）となりました。これは主に、賞与引当金の減少94,513千円、短期借入金の減少50,000千円があったものの、未払費用の増加234,547千円によるものです。

固定負債は、195,172千円（前連結会計年度末比25,664千円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の減少29,837千円によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,147,744千円（前連結会計年度末比37,444千円の増加）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,042,685千円（前連結会計年度末比53,361千円の減少）となりました。これは主に、利益剰余金の減少56,126千円によるものです。

この結果、自己資本比率は、64.0%（前連結会計年度末は65.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月15日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,141,985	2,037,968
売掛金及び契約資産	522,669	568,283
有価証券	100,050	99,860
仕掛品	9,770	8,397
その他	13,924	22,402
流動資産合計	2,788,400	2,736,912
固定資産		
有形固定資産	257,751	290,755
無形固定資産	1,438	1,265
投資その他の資産	158,755	161,497
固定資産合計	417,945	453,517
資産合計	3,206,346	3,190,429
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	59,498	56,120
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	119,332	119,336
未払費用	262,669	497,217
未払法人税等	76,352	37,737
賞与引当金	218,091	123,577
役員賞与引当金	5,500	—
その他	98,019	118,583
流動負債合計	889,463	952,572
固定負債		
長期借入金	220,836	190,999
資産除去債務	—	4,172
固定負債合計	220,836	195,172
負債合計	1,110,300	1,147,744
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	292,329	292,329
資本剰余金	198,288	198,288
利益剰余金	1,599,814	1,543,687
株主資本合計	2,090,431	2,034,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,860	7,975
為替換算調整勘定	△245	405
その他の包括利益累計額合計	5,614	8,380
純資産合計	2,096,046	2,042,685
負債純資産合計	3,206,346	3,190,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,012,595
売上原価	777,307
売上総利益	235,288
販売費及び一般管理費	156,554
営業利益	78,733
営業外収益	
受取利息	591
受取手数料	1,410
助成金収入	1,200
その他	354
営業外収益合計	3,555
営業外費用	
支払利息	604
為替差損	550
その他	50
営業外費用合計	1,204
経常利益	81,084
税金等調整前四半期純利益	81,084
法人税等	31,315
四半期純利益	49,769
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	49,769

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	49,769
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,115
為替換算調整勘定	650
その他の包括利益合計	2,765
四半期包括利益	52,534
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	52,534
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

---

当第1四半期連結累計期間  
(自2024年4月1日  
至2024年6月30日)

---

減価償却費	4,278千円
-------	---------

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表計上額（注）
	システム開発事業	就労支援事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,005,131	7,464	1,012,595	—	1,012,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,005,131	7,464	1,012,595	—	1,012,595
セグメント利益又は損失(△)	94,220	△15,487	78,733	—	78,733

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。